

# 360度評価を導入

アドバンテイク・レヒュース

個人の成長を企業の成長に

群馬県を中心に廃棄物の収集運搬を行うアドバンテイク・レヒュース（前橋市、堀切勇真社長、☎027・268・0055）は、今年から新たに360度評価を導入した。

360度評価とは、上司、部下、同僚などがお互いを評価する方法であり、複数の評価者が評価することで客観性・公平性を実現する。同社では、各社員

所属する部の長、同僚の社長、自分自身の四つの方向から評価する。そこで使用するものが「自己発見シート」。これは堀切社長が以前銀行に勤めていた際、採用を担当した経験を基にさまざまな要素を肉付けし作成している。自己発見シートは「印

象」仕事力・コンピテンシー（行動特性）「人間力」などからなり、それぞれ「印象」の項目には「身だしなみ」「あいさつ」「話し方」など、「仕事力・コンピテンシー（行動特性）」の項目には「距離感」「空気感」「組織認識力」「情報収集力」「傾聴力」「質問力」などの項目があり、5段階評価を行う。自分が思う自分の姿と周囲が思う自分の姿のギャップを自覚できれば、努力をすべき方向性などが明確になる。さらに年頭を立て

る三つの目標と照らし合わせることで、チームの中で自分がどうすべきかを判断しやすくなる。またこの目標についても、「営業で売上を〇〇上げる」などの目標ではなく、「部長をサポートしてチームをまとめる」などある程度幅を持って理解できる形にすることが重要で、固定的な目標にしてしまうとそれにとらわれる可能性もあるという。そして対象は社長も含めた全社員となる。

堀切社長によると、「当社では個人の人間的成長が組織の成長につながる」と考えている。それぞれが重要な役割を担っていることを自覚することが重要。その上で目標を立て、各自の成長につな

げていく。それは私自身も同様。経営者という立場もあくまでも役割の一つであり、自身が社員、組織とともに成長していかなければならない」と話している。